

会 議 等 結 果 報 告 書

| | | | |
|------|---|------|-----------|
| 会議区分 | 会 議 ・ 打合せ ・ 協 議 | 文書番号 | |
| | | 決裁期日 | 令和7年2月26日 |
| 名 称 | 令和6年度 第2回安平町未来創生委員会 | | |
| 日 時 | 令和6年12月16日 午前・ 午後 1時30分～3時20分 | | |
| 場 所 | 総合庁舎 大会議室 | | |
| 出席者 | 委 員 10名 外部有識者 3名 安 平 町 (政策推進課) 課長以下計5名 | | |
| 会議概要 | <p>1 開会 (進行：課長) ◇過半数以上の参加により委員会が成立していることを宣言</p> <p>2 委員長挨拶 ～省 略～ ◇令和5年度に実施された各種の重要事業に関する評価の実施に関するご報告と、国から人口推計データが示されましたので、これに係る安平町における分析結果をお知らせすることが主な議題となっているのでご意見等いただきたい。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 安平町未来創生委員会委員及び外部有識者の改選等について【P1】 ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <質問者> ・なし </div> <p>(2) 安平町未来創生委員会の役割からみる本日のテーマについて【P2～5】 ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <質問者> ・なし </div> <p>(3) 第2次安平町総合計画後期基本計画及び安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略の進行管理について【P6～40】 ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <A委員> ・P9「令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金事業」の「関係人口の拡大による地域産業活性化プロジェクト」における「事業承継件数」について、具体的にどういったケースか。 </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <事務局> ・事業継承に結びついたものとそうでないものがあると認識しており、基本的には相談があつてから動き出すのが基本。 </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <B委員> ・人口推計データにより、多少減り幅は減ってきたということが分かったが、下降傾向は変わらない大変な事実だと感じの正直な感想。 ・昼間人口を取り込むには、町自体の魅力であったり医療や買い物環境などの充実が必要と感じた。 </div> | | |

・また、気候変動についても意識していく必要性を感じた。特に食の自給。

<A委員>

- ・人口が減るので、税収がずいぶん減っていくことを認識した。
- ・外国人についてどれくらい見込んでいるか。

<事務局>

・R2が基礎データになっていることから、安平町ではこの後に外国人が増えてきているので、反映はこの先となる。

<A外部識者>

- ・次期総合計画とデジタルの推進計画は、ある程度連動させるのか？
- ・時代の進展が早く、技術の発展が早く、見直すタイミングが非常に難しい。

<事務局>

・体系としては分けるが、連携させる。総合計画の下にデジタルという位置づけとなる。

<A委員>

・第3次総合計画に盛り込んでいただきたい要素について、次の5点を挙げる。

- ①人口4,800人前後となっても豊かに暮らすことができる町を
- ②食とエネルギーの地産地消で豊かな町を
- ③子育て・教育のあびらブランドの発展を
- ④地元に残る若者への支援を
- ⑤サービス付き高齢者住宅の設立・誘致を

<B外部識者>

・今年度早来学園やあびら教育プランなどを実際に視察させていただき、九州などから転入された方のお話しも実際聴くことができた。その成果が数字として出てくると内容だったと思うが、このトレンドがいつまで続くのかという見通しを町民の方へ伝えることが重要と感じた。

<事務局>

・早来のみならず追分の動きを含めて、町民の皆様へ見通しをお示ししていきたい。

<C外部識者>

・この委員会は、「未来をどうするか」という視点で、たくさんの方がお話しをされることは非常に素晴らしいことだと毎回感じている。

・安平の教育に魅力を感じて、移住される方が増えていると聞くので、これが広がっていけば良いと感じる。

・全国にこれをどのように発信していくべきは、大変難しい問題だと感じる。インフルエンサーが町内外に増えることを期待する。

・先日初めて早来学園へ行ったが、暖炉があるなど大変感動した。これも重要な情報発信の種になると感じた。

<A外部識者>

・他の自治体にたくさん関わっているが、安平町は本当に真摯に取り組んでいる素晴らしいまちの一つだと実感している。

・現在産業の構造が変わろうとする中で、安平町はとても良い場所にいると思う。

・これをどう捉えていくかは現在行政の方が検討していると思うため、町の方がこれをどう真剣に捉えまちを動かしていくかという方向性の方が有効。行政の力だけでは難しく、町の文化そのものを変えていくのは、町の方々の熱意がないと変わらない。

・そのために、この会議はとても重要だと感じた。この町は、まだまだ夢を作ることができる町だと感じた。

7 閉会 (15:20)